

# 大阪大規模都市水害対策検討会を 踏まえた対応について

平成28年12月22日

近畿地方整備局 大阪府 大阪市

本資料における数値は全て検討途上のものであり、今後の検討において修正・更新していく

# 大阪大規模都市水害対策検討会について

## ■発足

平成27年3月30日

## ■目的

大阪大規模都市水害対策検討会は、水害リスクの高いゼロメートル地帯に人口や社会経済の中核機能が集積し、さらに広域に発達し高度利用が進む地下空間を有する梅田地区をはじめとする大阪を対象とし、スーパー台風の来襲等の大規模水害による最悪の事態を想定し、少なくとも命を守り、社会経済に対して壊滅的な被害が発生しないことを目標に、「状況情報」の提供による主体的避難の促進、広域避難体制の整備や、国、地方公共団体、公益事業者、企業等が主体的かつ連携して対応する体制の整備等について検討することを目的とする。

## ■メンバー

近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪管区气象台、大阪府、大阪市、大阪ガス(株)、  
関西電力(株)、大阪市地下空間浸水対策協議会

## ■検討状況

- ・ 大阪市域の高潮による浸水の想定、被害の想定
- ・ 大阪梅田地区を対象とした淀川洪水氾濫浸水想定と被害想定
- ・ 浸水想定と被害想定を踏まえた「大阪大規模都市水害対策ガイドライン(案)」を策定予定

# 高潮による浸水の想定

## ■想定外力

スーパー室戸台風を想定し、大阪の浸水想定を推算

## ○コース、速度

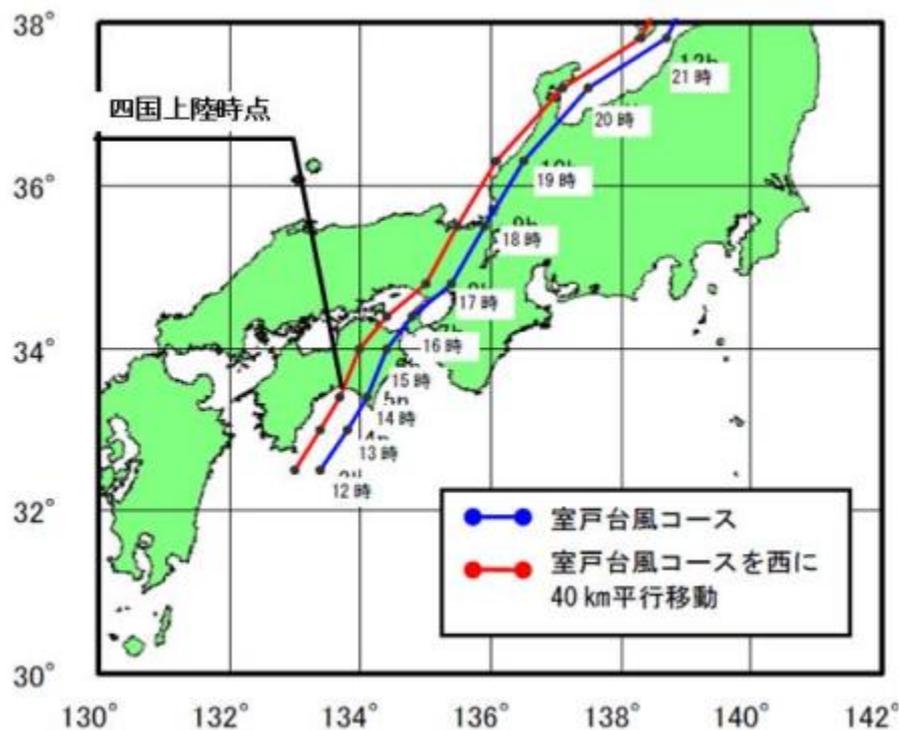
- ・室戸台風コースを西へ40kmスライド

## ○初期気圧 温暖化考慮

- ・四国上陸時900Hpa
- ・大阪湾に接近した台風のうち、観測史上最低の中心気圧を記録した第2室戸台風が、沖縄付近で有していた勢力（中心気圧約900Hpa）を保持したまま上陸することを想定

## ○気圧減衰

- ・伊勢湾台風と同様

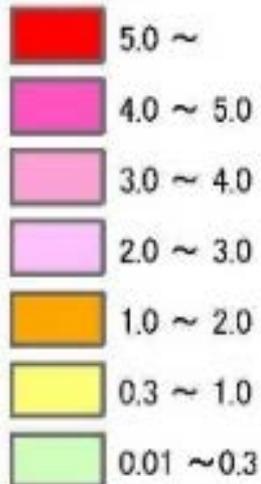


# 高潮による浸水の想定

(最大浸水深の重ね合わせ図)

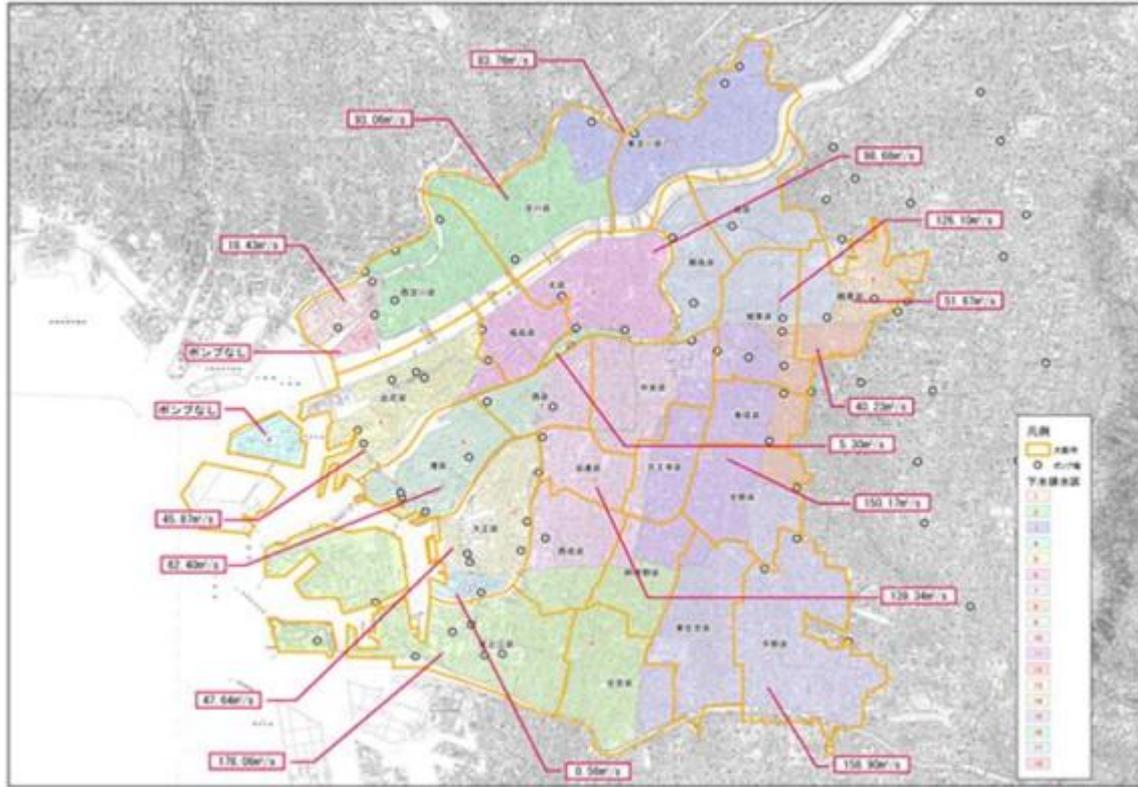
- ・ 浸水面積約 8,450ha
- ・ 浸水区域内人口 約100万人  
(夜間人口)

浸水深[m]



スーパー室戸台風(想定)による浸水を推算  
堤防、護岸には一定割合で破堤点を特定  
水防法に基づく高潮浸水想定区域とは異なる

# 浸水対策の例



耐水施設例:海老江下水処理場

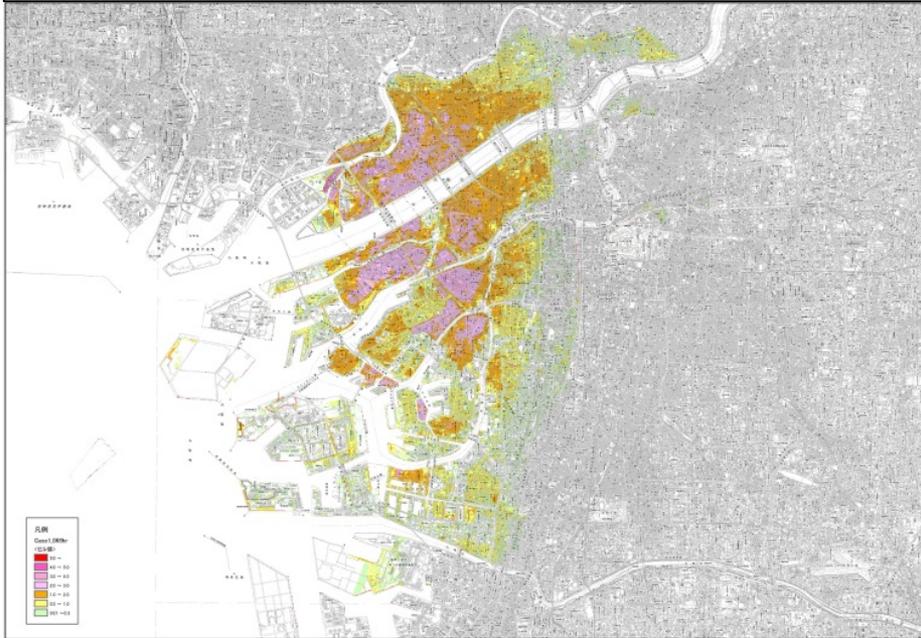


## ■大阪市下水ポンプの耐水化

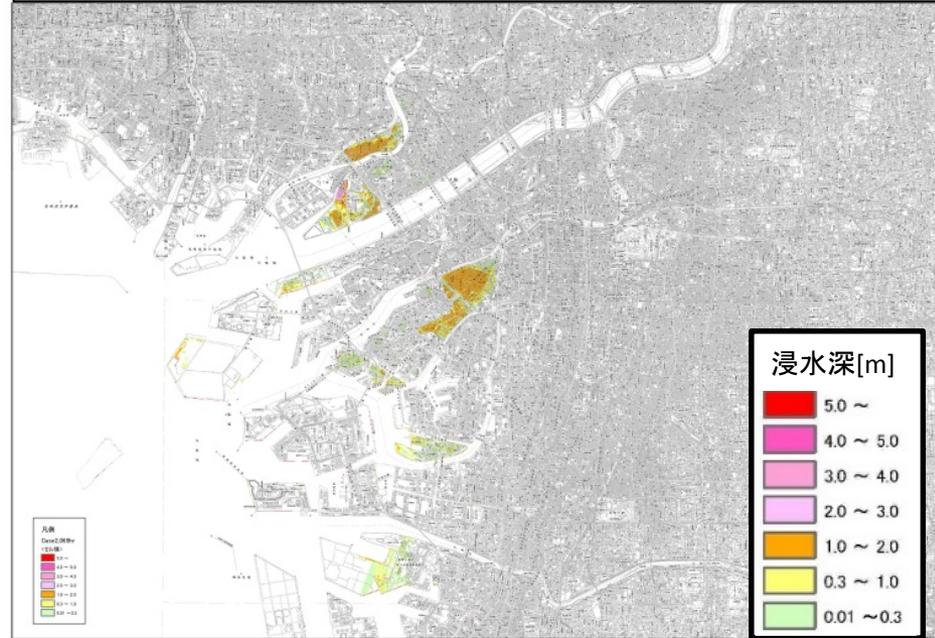
平成27年に下水ポンプの耐水化が概成(合計1,300m<sup>3</sup>/s)

# 浸水対策の例

ポンプ運転なし・堤防復旧なし  
浸水開始から66時間後の途中経過



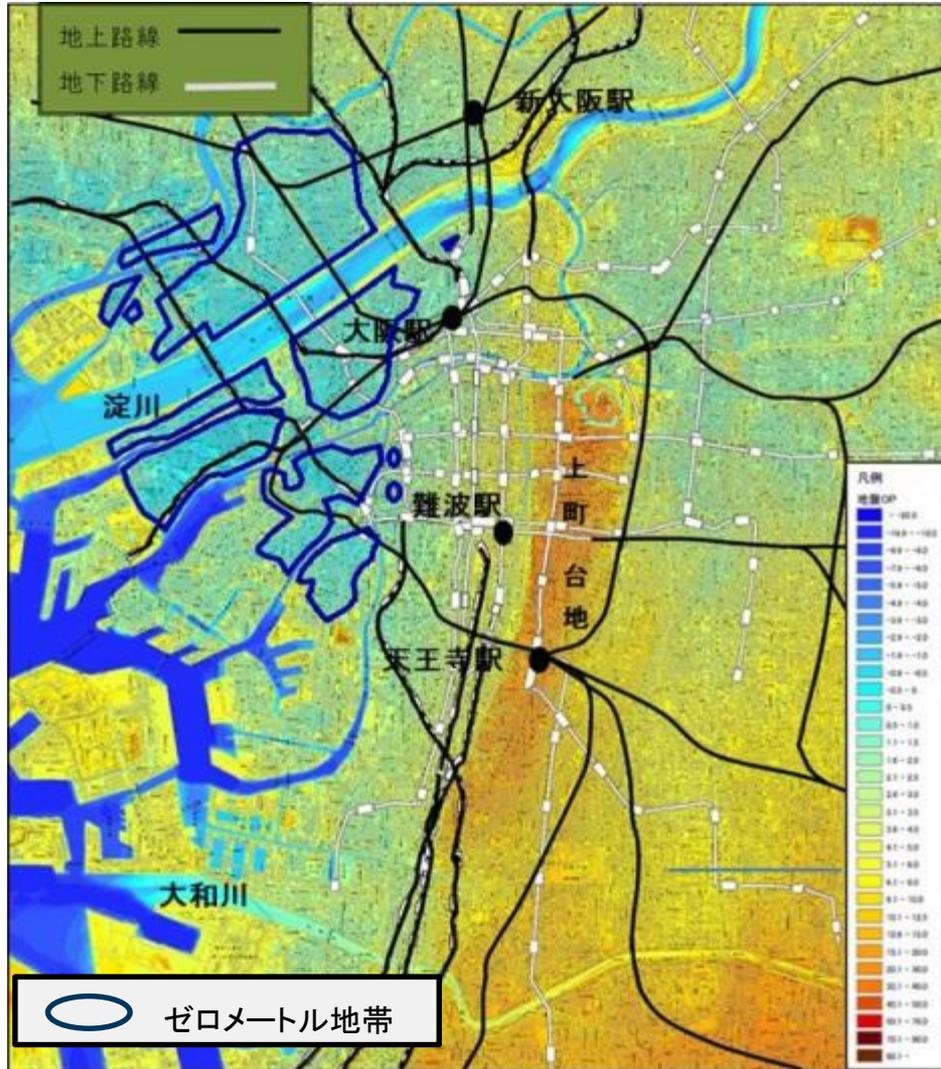
ポンプ運転あり・堤防復旧なし  
浸水開始から66時間後の途中経過



## ■スーパー室戸台風(想定)による高潮浸水を排水を仮定条件下で試算(今後精度向上)

- ・浸水想定区域では耐水化された大阪市下水ポンプによる排水を実施(浸水区域内合計830m<sup>3</sup>/s)
- ・堤防・護岸には一定割合で破堤点を特定(前述)。排水先の大阪湾・河川の水位等の種々の条件に関わらず連続排水を可能とするなど、「高潮浸水想定区域図作成の手引きH27.7」の条件と異っている
- ・高潮氾濫開始から約3日で大半の排水を完了

# 今後の検討課題



## ■ 検討方針

- 地形や浸水が想定される区域の特性等による避難のあり方検討  
(避難対象地区・避難者数、屋内安全確保と立ち退き避難の有効性等)